



## スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業の現地調査が行われました。

平成29年12月15日（金）13:00から本校で、文部科学省関係者3名が来校し、授業の参観と報告・協議を行いました。この調査は、本研究開発事業の進捗状況等の確認が目的です。

授業内容と報告・協議の一部を報告します。

### （1）参観授業

#### ①1年1組「農業と環境」

コメの検査規格を理解し、等級検査をしました。その後、実際に食味検査を行い、必ずしも等級が高いことがおいしい米ではないことを実感していました。

#### ②1年2組「地理」

食品ロスについて考え、コース毎にSDGs 17の目標と自分たちの学習内容の結びつきを考えました。最後に「ネリカ米」を播種し、国際協力活動を体験しました。

#### ③1年5組「総合的な学習の時間」

「今年1年の感動した学び」を目的にオープンウィンドウ64を展開しました。3名の代表が発表し、お互いに感動した学習内容を共有しました。



1年1組



1年2組



1年5組

### （2）報告・協議

それぞれの担当者から進捗状況について説明し、質疑や助言を受けました。

○他の科目との連携が見え素晴らしく工夫された授業でした。

○エゴグラムの調査結果からNP（寛容性）値が低下しているが、悪い点ではなく課題として捉えて欲しい。

○オープンウィンドウ64はアイデア発想のツール、全部埋まらなくてもよい、書けないところは斜線を引くことで生徒の気持ちは落ち着くはずです。



報告・協議の様子